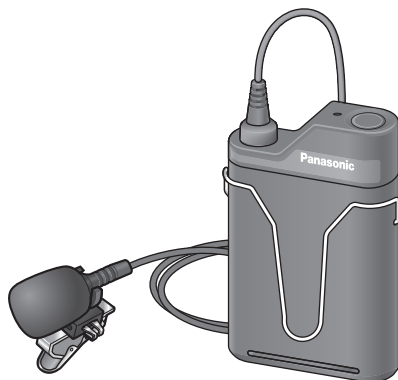


取扱説明書

ワイヤレスマイクロホン 業務用

品番 WX-UT630



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（6～8ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



はじめに

商品概要

本機はタイプン型の800 MHz帯ワイヤレスマイクロホンです。

- 本機はワイヤレス受信機WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、およびWX-UR504（ともに別売品）の専用ワイヤレスマイクロホンです。
- 同一空間で最大7波の同時使用が可能です。
- 送信周波数はグループ・チャンネル設定スイッチを操作することにより変更できます。
- 電池は単3形アルカリ乾電池または単3形ニッケル水素電池（充電電池）が使用できます。
- 充電器（WX-UZ650：別売品）を使用することで、本機に単3形ニッケル水素電池を装着したままで充電ができます。
- ヘッドセットマイクロホン（WX-M210またはWX-SM405：別売品）と組み合わせて使用できます。

付属品をご確認ください

取扱説明書 兼 保証書（本書）.....	1冊
単3形マンガン乾電池（動作確認用）.....	1本
マイクホルダー（マイクに取付済み）.....	1個
マイククリップ.....	1個
小型ドライバー.....	1個
グループ・チャンネルラベル.....	1式
ウィンドスクリーン（マイクに取付済み）.....	1個



- 付属の単3形マンガン乾電池は、動作時間が短いため動作確認用として使用してください。
- 動作確認終了後は、以下の電池を使用してください。
充電電池：単3形ニッケル水素電池
乾電池：単3形アルカリ乾電池
- 充電のしかたは、充電器（WX-UZ650：別売品）の取扱説明書をお読みください。

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

商標および登録商標について

この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- ワイヤレスマイクロホン（WX-UT630）を本機またはマイクと表記しています。
- 充電器（WX-UZ650：別売品）を充電器または専用充電器と表記しています。
- ワイヤレスアンテナ（WX-UA695、WX-4950A、WX-4965、WX-4970：別売品）をワイヤレスアンテナまたはアンテナと表記しています。
- ワイヤレス受信機（WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504：別売品）を受信機と表記しています。
- ヘッドセットマイクロホン（WX-M210、WX-SM405：別売品）をヘッドセットマイクロホンまたはヘッドセットマイクと表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2026年7月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



メモ : 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	3
著作権について	3
商標および登録商標について	3
略称について	3
記号について	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	9
機器上に表示される図記号	11
各部の名前とはたらき	12

基本操作

周波数設定のしかた	14
送信周波数表	16
電池を入れる・電池を交換する	17
マイク感度を設定する	18
マイククリップの取り付けかた	19
装着のしかた	20
マイクを使う	21
電池残量表示について	22

その他

故障かな!?	23
仕様	24
保証とアフターサービス	25

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険



専用充電器または充電電池が指定する充電器を使用してください
液もれ・発熱・破裂の原因となります。



禁止

ニッケル水素電池以外は充電しない
電池の液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告



航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

屋外で使用するとき雷が鳴り出したら、体から離す

感電の原因となります。

- 直ちに使用をやめ、体から本機を遠ざけてください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

- 放置せずに、直ちに電池を抜いて、販売店に連絡してください。



禁止

医療機器に近づけない

(手術室、集中治療室、CCU等には持ち込まない)

本機からの電波が医療機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

不安定な場所に置かない

落下などでけがや事故の原因となります。

乾電池は充電・分解・ショートしない

乾電池の破裂や液もれにより火災、けが、やけどの原因となります。

充電電池は分解・ショートしない

充電電池の破裂や液もれにより火災、けが、やけどの原因となります。



分解禁止

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしない

火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

注意



お手入れのときは電池を外す

けがの原因となります。

廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。

電池は極性（プラス+とマイナス-）を正しく入れる

間違えると、電池の破裂や液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

使い切った電池は、すぐに本機から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

長時間使わないときは、機器から電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い場所に置かない

けがの原因となります。

幼児の手の届く場所に置かない

けがの原因となります。

ニカド電池、リチウムイオン電池は使わない

万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は業務用機器です

丁寧に取り扱いください

- 本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。
- 部品に欠陥がある場合は、修理または交換してください。
- 高精度の調整がしてありますので、強い衝撃を受けたり、床などに落としますと特性が変化することがあります。取り扱いには十分ご注意ください。本機に衝撃などが加わると音声出力より衝撃音が発生しますので、衝撃を加えないようにしてください。
- 本機を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。

使用温度範囲は

- 0℃～40℃です。この範囲外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。低温になるほど使用電池の動作時間が短くなります。
- 充電時の温度範囲は0℃～35℃です。

使用場所・保存場所について

- 長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。
- 本機は、回転機、変圧器、自動車のイグニッションノイズの影響を受けにくい場所を選んで使用してください。
- 高所で使用する場合は、取り扱いに十分ご注意ください。落下すると、けがや故障の原因になります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。
- テレビ・ラジオ・パソコンなどのOA機器の近くで使用しないでください。ノイズ発生の原因になります。
- デジタル放送受信機（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近くで使用しないでください。デジタル放送の画像が乱れる原因になります。
- パワーアンプ、ビデオモニター、測定器などの発熱の多い機器の上や、夏の閉め切った車の中に放置しないでください。保存はなるべく乾燥したところで行ってください。

電池について

- 本機に入れた電池は、電源を切った状態でもわずかに消費されています。そのまま放置すると液もれする可能性がありますので、本機を長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所で使用、放置しないでください。

使用上のお願い

- 電池の電極や電池カバー内の端子は汚れた手で触れないでください。接触不良やノイズの原因になります。
- 劣化した電池、内部短絡した電池を使用しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂の原因となります。

通話の傍受について

- 本機は電波を使うため、第三者が故意に傍受することがあります。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
- 電池の電極や電池カバー内の端子が汚れたときは、綿棒や乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、電池カバー内の端子は汚れがつきやすいので、定期的（月に1回程度）にエチルアルコールでふいてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤や金属磨きなどの研磨剤を使用すると、変形・変色やメッキがはがれてきますので、使用しないでください。
- 製品表面の汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふきとってください。アルコール成分や界面活性剤を含むウェットティッシュや除菌シートの使用を避けてください。これらの製品を使用すると、表面のコーティングや素材に損傷を与える恐れがあります。また、液体が製品内部に侵入し、故障を引き起こす可能性もあります。
- マイクのケーブルを製品に巻き付けたり、強くねじったりした状態で保管しないでください。ケーブルが断線したり、ケーブルの被覆が移行（跡が残ること）したりする可能性があります。

上手な使いかた

- ノイズ防止について

電池の交換や出し入れのときは、大きなノイズが発生するおそれがあるため、本機の電源を切ってパワーアンプやミキサーなどのボリュームを絞ってから行ってください。

充電電池のリサイクルについて

- 不要になった充電電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池のリサイクルにご協力ください。



Ni-MH

使い終えた乾電池を捨てるときは

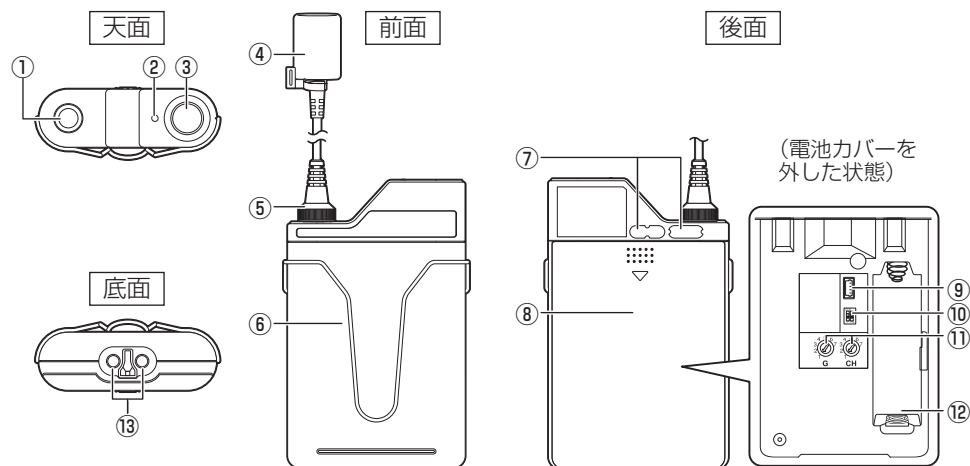
- プラス⊕極とマイナス⊖極にセロハンテープを貼って絶縁してください。
- 捨てるときは、地域の自治体（区市町村）の指示にしたがってください。

機器上に表示される図記号

機器上に表示されている図記号の説明は下表のとおりです。

図	説明
	電池の配置

各部の名前とはたらき



① マイクロホン接続端子

マイクロホンの接続端子です。

② 電源表示灯（充電表示灯）

本機を使用中は電池残量を表示します。また、充電器に本機をセット中は充電状態を表示します。

使用中の表示：

- 点灯（緑色）：電源入 電池残量あり
- 遅い点滅（赤色）：電源入 電池残量ごくわずか
- 消灯：電源切または電池残量なし

・詳細は「電池残量表示について」（22ページ）をお読みください。

早い点滅（赤色）

- ：エラー
- ・送信周波数表にないグループ・チャンネルに設定されているか数字の位置に設定されていません。
- ・ハード故障

充電中の表示：

- 点灯（赤色）：充電中
- 消灯：充電完了
- 充電器に正しくセットされていない
- 充電電池が挿入されていない

早い点滅（赤色）

- ：充電エラー
- 主に以下の状態を示します。

- ・乾電池または劣化した充電電池が挿入されている可能性があります。電池を確認してください。
- ・充電電池の温度が許容範囲を超えた可能性があります。使用温度範囲内か確認してください。

点滅（赤色／緑色交互）：充電エラー

- マイクの電源スイッチが入った状態になっています。電源スイッチを切って充電器にセットし直してください。



- 電源スイッチが入った状態のマイクを充電器にセットすると、充電エラーとなります。充電エラー中は充電および拡声はできません。

③ 電源スイッチ

本機の電源を入／切します。
電源スイッチを押すと電源が入ります。
もう一度押すと、電源が切れます。

④ マイクロホン部

音声をここから収音します
マイクロホン部にはウインドスクリーンが取り付けられています
● ウインドスクリーンは長期使用により劣化する消耗品です。交換は販売店に依頼してください。

⑤ マイクロホンケーブル固定ねじ

マイクロホンケーブルのプラグを固定するねじです。取り外してヘッドセットマイクロホンを接続できます。

⑥ フック

本機の引っ掛け用フックです。胸ポケットや腰ベルトに固定するときに使用します。

⑦ グループ・チャンネルラベル貼り付け部

付属のグループ・チャンネルラベルを貼り付ける部分です
マイクごとに設定したグループ・チャンネルを識別しやすくなります。

⑧ 電池カバー

下側にスライドすると電池カバーが外れます。

⑨ 保守用コネクタ

保守用のコネクタです。

⑩ マイク感度設定スイッチ（スイッチ1）[標準／低感度]

マイクロホンの感度を切り替えることができます。

[標準]（工場出荷設定）：タイピン型マイク接続時。マイク感度が上がります。

[低感度]：ヘッドセットマイク接続時。マイク感度が下がります。

- スイッチ2は使用しません。

⑪ グループ・チャンネル設定スイッチ [G] [CH]

本機の送信周波数を選択します。[G] がグループ、[CH] がチャンネルの設定スイッチです。設定スイッチの工場出荷設定はそれぞれ「1」です。

同時に使用するマイクはグループをすべて同じにして、チャンネルを変えて設定します。

⑫ 電池挿入部

プラス⊕、マイナス⊖の極性の向きに合わせて、単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素電池を入れます。

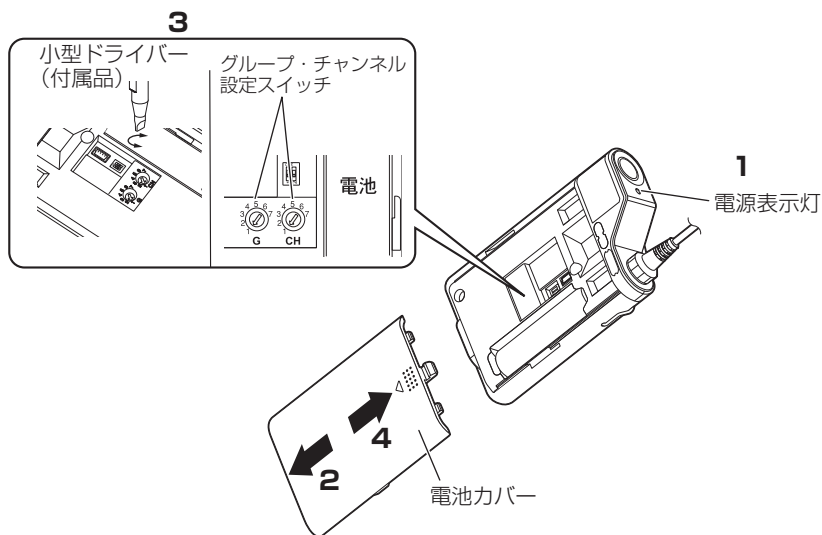
⑬ 充電端子

充電用の端子です。

周波数設定のしかた

マイクと受信機は同じ周波数に設定してください。

複数のマイクを使用する場合は、次ページの「グループについて」をお読みください。



1 電源スイッチを切って、電源表示灯が消灯していることを確認する

2 電池カバーを取り外す

3 グループ・チャンネルを設定する

小型ドライバー（付属品）で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。

4 電池カバーを取り付ける

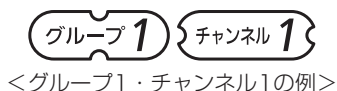
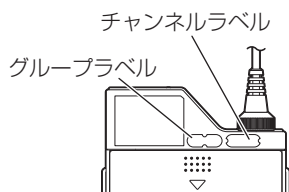


● グループについて

同じ場所で複数のマイクを同時に使用するときは、グループをすべて同じにし、チャンネルを変えて使用します。

学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとに異なるグループのマイクを割り振ります。

- グループ1～4 …最大6波まで。
 - グループ5 ……5波まで。
 - グループ6 ……1波まで。
 - グループ7 ……7波まで。ただし、隣接した他の部屋では他のマイクは使えません。
- 送信周波数表にないグループ・チャンネルに設定した場合、また、グループ・チャンネル設定スイッチが数字の位置に設定されていない場合は、電源表示灯が早い点滅となり送信できません。そのままの状態にしておくと電池を消耗します。
 - グループ・チャンネルラベル（付属品）を貼ると、マイクを識別しやすくなります。



周波数設定のしかた

■ 送信周波数表

グループ・チャンネルの数字と送信周波数の関係を下表に示します。

送信周波数(0.125 MHz間隔、30波)							
周波数(MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						
	1	2	3	4	5	6	7※
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

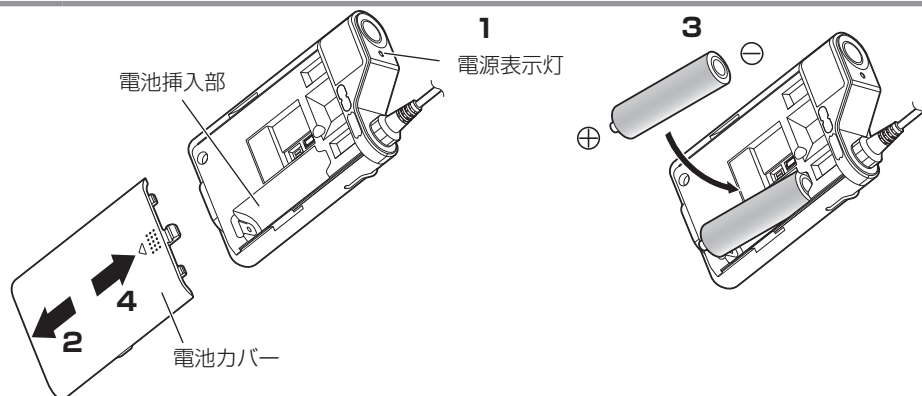
※ 7波使用例

電池を入れる・電池を交換する

「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。



- 電池の電極は汚れた手で触れないでください。接触不良やノイズの原因となります。汚れたときは綿棒や乾いた柔らかい布などでよく磨いてください。
- 本機に入れた電池は、電源を切った状態でもわずかに消費されています。そのまま放置すると液もれする可能性がありますので、本機を長時間使用しないときは電池を取り出してください。



基本操作

1 電源スイッチを切って、電源表示灯が消灯していることを確認する

2 電池カバーを取り外す

3 電池を入れる、または交換する

電池を取り出すときは、プラス⊕側から先に外してください。

電池の極性（プラス⊕、マイナス⊖）を確認し、電池を入れてください。

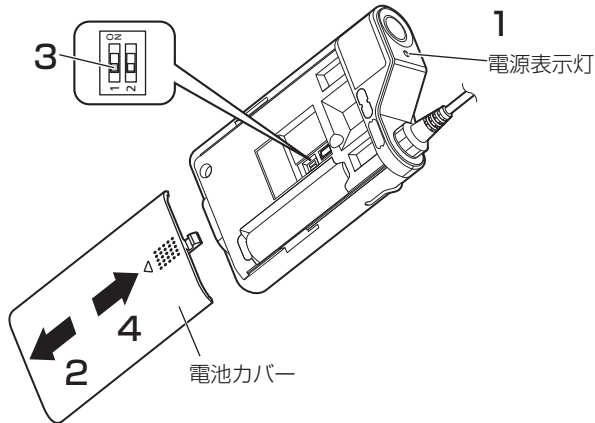
4 電池カバーを取り付ける



- 電池の種類によって、本機の使用時間が短くなることがあります。
- 充電器（WX-UZ650）を使用して充電電池を充電する場合、パナソニック製単三型ニッケル水素充電電池をお使いください。パナソニック製以外のニッケル水素充電電池の充電のしかたは、充電電池の取扱説明書をお読みください。
- 専用充電器（WX-UZ650）を使用するの充電のしかたは充電器の取扱説明書をお読みください。
- 充電電池の充電時間を短くしたい場合や予備の充電電池を充電しておきたい場合は、本機からニッケル水素電池を取り外して、充電電池専用の急速充電器（市販品）で充電することもできます。

マイク感度を設定する

本機のマイクロホン部の感度の設定を行います。



1 電源表示灯が消灯していることを確認する

2 電池カバーを取り外す

3 マイク感度を設定する

マイクの感度設定スイッチを設定します。スイッチの操作は小形ドライバー（付属品）を使用してください。設定は以下のとおりです。

[標準]（工場出荷設定）：タイピン型マイクロホン接続時

[低感度] ：ヘッドセットマイクロホン接続時
感度が下がります



4 電池カバーを取り付ける

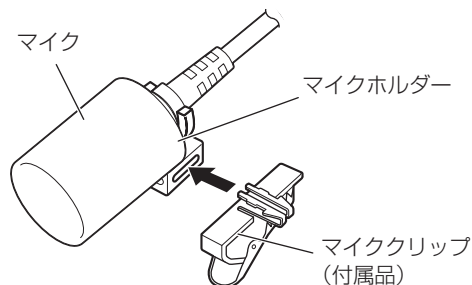


- 本機に接続されているタイピン型マイクロホンを使用する場合は、[標準]に設定してください。ヘッドセットマイクロホンを接続して使用する場合は、[低感度]に設定してください。
- 話す人の声の大きさに応じて、マイク感度を切り替えることができます。マイクを口元に近づけて話すときは[低感度]に設定します。
- [低感度]に設定すると、感度は[標準]より約10 dB下がります。

マイククリップの取り付けかた

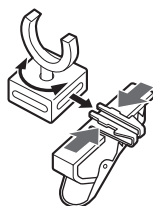
1 マイククリップ（付属品）を取り付ける

マイクホルダーにマイククリップを取り付けます。



● マイクホルダーの向きを衣類に合わせて変えることもできます。

下図のようにマイククリップを両側から押しながら、マイクホルダーから外し、マイクホルダーの向きを90° 変えて、再度マイククリップに差し込みます。



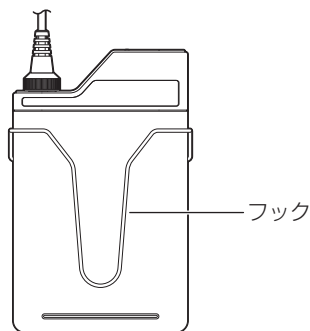
装着のしかた

本機は胸ポケットや腰ベルトに装着できます。
装着および位置の調節は、電源を切った状態で行ってください。

腰ベルトへの装着のしかた

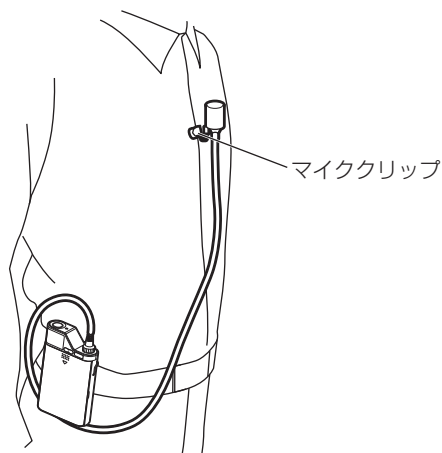
1 ベルトに装着する

前面のフックをベルトに装着します。



2 マイクをマイククリップでとめる

マイクロホン部は、付属のマイククリップでネクタイや襟などにとめてください。
とめる位置はできるだけ口もとに近い方が、より明瞭な音質が得られます。



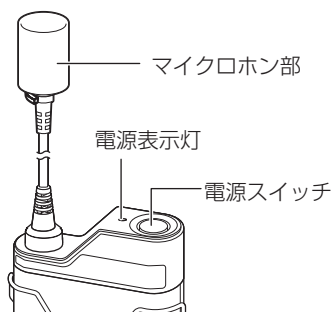
マイクを使う

1 受信機の電源を入れる

2 本機の電源を入れる

本機の電源スイッチを押して電源を入れます。
本機の電源表示灯が点灯します。
マイクロホン部で収音した音声が増幅されます。

- 使用後は本機の電源を切ってください。
電源を切るときは、もう一度電源スイッチを押します。
本機の電源表示灯が消灯します。



重要

- 本機を使用中にスピーカーに近づけないでください。ハウリングなどの大きな音が発生し、耳を痛める原因となります。



- マイクは口から5 cm～10 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を拡声します。また、マイクを口に近づけると低音が強調されます。
- スピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。
その場合は受信機のボリュームをしばらく、マイクの使用位置を移動してください。
- 携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生することがあります。
- 本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約60 m、屋内で約30 mまで離れて使用できます。
これ以上離れると使用できません。（上記の距離は、受信機および混合分配器のフィールド選択スイッチが「標準」、アンテナ感度スイッチが「0 dB」の場合）
- 雑音が入るときは、ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。
そのときの距離は、2 m～10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- マイクどうしは、50 cm以上離してお使いください。
2本以上を50 cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- 本体クリップに金属物が触れるとノイズが発生することがあります。
- マイクのケーブルを製品に巻き付けたり、強くねじったりした状態で保管しないでください。ケーブルが断線したり、ケーブルの被覆が移行（跡が残ること）したりする可能性があります。

電池残量表示について

マイクの電池残量データを受信機（WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504：別売品）に送信しており、受信機側でも電池残量を確認することができます。

電池残量の目安は以下のようになっています。（25℃使用時）

パナソニック製単3形アルカリ乾電池 LR6XJ使用時

または、単3形ニッケル水素電池 BK-3MCD使用時

マイクの表示

電源表示灯	電池残量の目安
点灯（緑色）	残量あり
遅い点滅（赤色）	残量ごくわずか※
消灯	残量なし

受信機の表示

電池残量表示灯	電池残量の目安
点灯（緑色）	残量あり（5時間以上）
点灯（橙色）	残量あり（5時間未満）
点灯（赤色）	残量ごくわずか※
消灯	残量なし（またはマイク電源オフ）

→
→
→

※残量ごくわずか：新品乾電池に交換、または充電してください



- マイクの電源を入れてから受信機に電池残量表示されるまで約10秒かかります。
- マイクとアンテナの距離が遠い場合や電波干渉などで受信機がマイクからの電池残量の情報を受信できない場合は、受信機の表示は消灯になります。
- 電池残量（動作時間）は、電池のメーカー・種類・使用時の温度などによって異なります。使用時の温度が低温になるほど動作時間は短くなります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。
これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
充電についての確認は、充電器（WX-UZ650：別売品）の取扱説明書の「故障かな!？」をお読みください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	● 電池が入っていますか？ ➡ 乾電池または充電電池を入れてください。	17
	● 電池が消耗していませんか？ ➡ 新しい電池に交換または充電電池の場合は充電してください。	17
	● 電池の極性（プラス⊕、マイナス⊖）の向きが間違っていないですか？ ➡ 正しい向きに電池を入れてください。	17
音声が出ない	● 受信機もしくは接続されているアンプ等の音量が小さくなっていませんか？ ➡ 音量調節つまみで音量を調節してください。	—
	● 受信機のグループ・チャンネル設定と合わせていますか？ ➡ マイクと受信機のグループ・チャンネル設定を合わせてください。	14
満充電しても動作時間が短い	● 長年使用することなどで劣化した充電電池を入れていませんか？ ➡ 劣化した充電電池は動作時間が短くなる、電源が入らないなどの現象があらわれます。新しい充電電池に交換してください。	17
マイクロホンの音が小さい	● マイク感度の設定が「低感度」になっていませんか？ ➡ マイク感度の設定を「標準」にしてください。	18
電源表示灯が赤点減している	● 送信周波数表にないグループ・チャンネルに設定していませんか？ ➡ 送信周波数表にあるグループ・チャンネルに設定してください。 ● グループ・チャンネル設定スイッチの設定位置が数字の位置からずれていませんか？ ➡ 設定位置を数字の位置に合わせ直してください。	14

仕様

送信周波数	806.125 ～ 809.750 MHz (30波のうち1波)
電波形式	F3E、F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	受信機 WX-UR502システムにて約60 m (屋外) ※1
変調感度	±5 kHz FM (92 dB SPL 1 kHzにて)
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
周波数特性	100 Hz ～ 10 kHz (1 kHz基準50 μs エンファシス)
最大入力音圧	116 dB SPL (感度設定[標準]) 126 dB SPL (感度設定[低感度])
入力等価雑音	40 dB SPL以下 (Aカーブ)
使用電池	乾電池：単3形アルカリ乾電池×1本 または、充電電池：単3形ニッケル水素電池 ×1本
消費電流	約60 mA (1.5 Vにて)
電池動作時間 (25℃連続使用にて)	約25時間 (パナソニック製単3形アルカリ乾電池 LR6XJ使用時)
(新品電池) (充電電池は満充電)	約25時間 (パナソニック製単3形ニッケル水素電池 BK-3MCD使用時)
使用温度範囲	0℃ ～ +40℃ (充電時：0℃ ～ +35℃)
使用湿度範囲	20% ～ 90% (結露なきこと)
寸法	本体：幅61 mm、長さ99 mm、厚さ20 mm マイク部：最大径φ14 mm、長さ25.5 mm (ウィンドスクリーン取付時：径φ20 mm、長さ28 mm) マイク・本体間ケーブル長：約800 mm
質量	本体：約95 g (アルカリ乾電池含む) マイク部：約15 g
仕上げ	グレー色 (マンセルN4近似色)

※1 受信機のフィールド選択スイッチ「標準」、アンテナ感度スイッチ「0 dB」の設定時

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは
「故障かな!？」(23ページ)
でご確認のあと、
電池を抜いて、お買い上げ日
と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ワイヤレスマイクロホン
●品 番	WX-UT630
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

- ・ソフトケース

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことおよび現地調達の部品など本機以外の要因により事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナソニック パナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝日は受付のみ)
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/support/cs-contact>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または、修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記載の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
 - (ホ) 他の接続機器及び接続部品に起因して生じた故障及び損傷
 - (ヘ) 別に指定する磨耗品の部品、その他付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準する遠隔地へのお出張修理を行う場合の出張に要する実費および高所の取外し、取付に要する実費
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This Warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

ワイヤレスマイクロホン保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※ 品 番	WX-UT630
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 お名前 様 電 話 () -
※ 販 売 店	住所・販売店名 電 話 () -

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号 TEL 0120-878-410

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

キ
リ
ト
リ
線

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号